

平成 29 年 5 月 2 日
気 象 庁

気象庁防災情報 XML フォーマットに係るお知らせ

平成 27 年 9 月 16 日付でお知らせしていた、新たなステージに対応した防災気象情報の提供開始に伴い新設する電文（VPWW54,VPFD60,VPFW60）の運用開始日時、代替措置による電文の運用、試行としての提供時からの電文の運用の変更点についてお知らせします。

また、平成 28 年 11 月 30 日付でお知らせした危険度分布（メッシュ情報）の技術を活用した大雨特別警報の発表対象区域の改善等に伴う電文の運用の変更時期、及び特別警報に切り替える可能性を記述する運用の開始時期についてもお知らせします。

1 新たなステージに対応した防災気象情報の提供開始に伴い新設する電文（VPWW54・VPFD60・VPFW60）の運用開始日時

平成 29 年 5 月 17 日 13 時

2 VPWW54・VPFD60・VPFW60 の代替措置による電文の運用

情報作成システムの障害等が発生した際でも、VPWW54・VPFD60・VPFW60 については可能な限り代替措置により配信を継続します。この代替措置による電文の運用は以下のとおりです。

VPWW54

以下の縮退形式となります。

- ・ ボディ部（Body）のうち、次の要素を省略する。
前回の発表状況（LastKind）、特別警報または警報への切り替え予告（NextKinds）、特記事項（Attention）、付加事項（Addition）、域内全域または一部を示す識別子（FullStatus）、市町村等に対応する時系列情報（TimeSeriesInfo）を含む MeteorologicalInfos。
- ・ お知らせ（Notice）で以下のような記述により縮退形式であることを示す。
例：<Notice>機器障害のため、電文の一部を省略しています。</Notice>

VPFD60

以下の縮退形式となります。

- ・ ボディ部（Body）のうち、次の要素を省略する。
予報事項（MeteorologicalInfo）「1時間最大雨量、3時間最大雨量、6時間最大降雪量、最大風速、波高の最大の予想」を含む時系列情報（TimeSeriesInfo）（「警報級の可能性の予想」を含む時系列情報（TimeSeriesInfo）は省略しない。）

VPFW60

通常時の電文と同様の形式となります。

なお、一部官署の情報作成端末障害の場合は、従前どおり、他官署において代行することにより通常形式の電文の提供継続を図りますので、今回お知らせする代替措置の適用は、情報作成システムの全国規模の障害時に限られます。

従来より提供している気象警報等の電文の代替措置の運用については、変更ありません。

3 試行としての提供時からの電文の変更点

電文の運用について、平成 29 年 5 月 17 日 13 時より以下の変更を行います。これに伴う気象庁防災情報 XML フォーマットの辞書・スキーマ等の変更はありません。

VPWW54

- ・ PrecipitaionPart に記載する 1 時間最大雨量及び 3 時間最大雨量について、20 ミリ未満の場合、“0 ミリ”、“1 ミリ”、“5 ミリ”、“10 ミリ”、“15 ミリ”のいずれかで表現する。

VPFD60

- ・ SnowfallDepthForecastPart に記載する 24 時間最大降雪量について、1 センチ以上 10 センチ未満の場合、“1 から 5 センチ”と“5 から 10 センチ”のいずれかで表現する。
- ・ WaveHeightForecastPart の Sentence 要素及び WaveHeight 要素の description 属性に記載する波高の最大について、50 センチ単位の波高をメートルで表現する（例えば“50 センチ”、“1 メートル 50 センチ”という表現を“0.5 メートル”、“1.5 メートル”という表現に変更する。）

VPFW60

試行からの変更はありません。

4 危険度分布（メッシュ情報）の技術を活用した大雨特別警報の発表対象区域の改善等に伴う電文の運用の変更時期

平成 29 年 7 月上旬（運用開始日時については改めてお知らせします。）

5 特別警報に切り替える可能性を記述する運用の開始時期

平成 29 年 7 月上旬（運用開始日時については改めてお知らせします。）